

果樹園だより

徳島県立池田高等学校三好校



「ありがとう」を大切に！！

ナシの摘果

ナシの樹に小さな実がつき始めました。多くの実がなっているのので、摘果をします。結果母枝といわれる実をつける枝に一つの実を残して、あとはすべて取ります。今回は予備摘果で、袋掛けの前にも摘果を行います。



モモの袋掛け・ネット張り

モモは果実と枝に隙間がなく、ナシよりも袋掛けが難しいです。低樹高のモモの樹ですが、生徒にとっては手が届きにくいところもあります。何とか袋掛けを終え、続いてネット張りをしました。2年生も徐々に成長していています。



ブドウの「ねん枝」

3年生が管理しているブドウ園でブドウの「ねん枝」を行いました。ねん枝とは、枝を曲げて伸びる方向を決める作業です。

ブドウの場合は枝の根元をしっかりと持って枝をひねらないと、枝が折れてしまいます。生徒にとっては初めての作業でしたが、作業が終わるころには上達していました。



ウンシュウミカンの定植

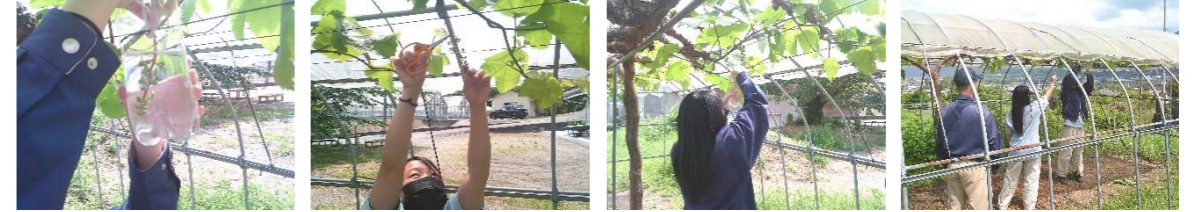
ウンシュウミカンの苗木が届き、いよいよ定植を迎えました。前回、計測して決めた定植場所に穴を掘り、苗木を植えますが、植える前に下の枝は切っておきます。苗木を穴に入れ、上から土をかぶせます。

植えた後、樹が真っ直ぐ伸びていくよう支柱に紐で結び付けます。そのあと、肥料を混ぜ、樹の周りに肥料を入れていきます。肥料の上から水を掛けます。



ブドウのジベレリン処理

ブドウの種なし化を進めるために、植物成長調整剤のジベレリンを使います。花穂というつぼみ状態の房をジベレリン溶液につける作業です。これをジベレリン処理といいます。ジベレリン処理は2回行います。今回は1回目の種なし化。2回目は開花後2週間後ぐらいに実を大きくしていくために行います。



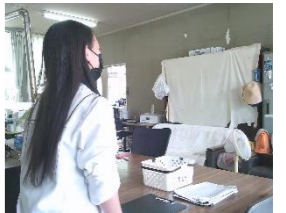
環境整備

実習で使った道具を洗う場所の排水溝がずいぶん前からつまって、水の流れが悪くなっていました。1年生の総合実習の時間を使って、きれいにしました。



意見発表の練習

7月23日(木)に城西高校で行われる農業クラブの意見発表の県予選に三好校からは果樹専攻と食品専攻が出場します。ゴールデンウィーク明けから練習を開始し、中間考査期間中も練習を続けています。



ブドウの花

生徒用ブドウ園ではブドウの花が咲き始めました。この場所は日当たりよく暖かいので、他の場所より花が咲くのが早いです。きれいに撮れた写真を出しておきます。ブドウの花ってこんな感じなんですね。昨年は見逃してしまいましたので、今年はじっくり観察しました。



ナシの袋掛け

ナシの袋掛けが始まりました。早生品種の幸水から袋掛けをします。5月末から6月末までこの作業が続きます。豊水の袋掛けは幸水より2週間遅く始めます。昨年は2,800個に袋掛けをしました。



Facebook 始めました

果樹園での実習の様子を簡単な動画で紹介し、Facebookで徳島県立池田高等学校三好校敷地農場果樹園を検索してみてください。